

令和6年度第2回ひたちなか市障害者自立支援協議会次第

日時：令和7年2月26日（水）
午前10時
場所：基幹相談支援センター研修室

1 開 会

会長あいさつ

2 議 事

議事第1号 基幹相談支援センターの活動報告について

議事第2号 専門部会の活動報告について

(1) 相談支援部会

(2) 防災専門部会

(3) 子ども部会

議事第3号 令和7年度の予定について

3 その他

4 閉 会

ひたちなか市障害者自立支援協議会委員名簿

任期：令和5年7月20日～令和8年3月31日

委員	所属団体名
皆川 嘉彦	ひたちなか市視覚障害者福祉協会
富川 己幸希	ひたちなか市聴覚障害者協会
石津 守代	ひたちなか市障害児者育成会
清水 俊雄	ひたちなか地域家族会（ネモフィラ結の会）
有阪 加奈子	社会福祉法人はまぎくの会
椋田 美紀子	NPO法人生活支援ネットワークこもれび
鹿志村 浩史	社会福祉法人オクス・ウェルフェア 障害者支援施設オクスヴィレッチ
谷田部 敬司	社会福祉法人北養会就労支援センター北勝園みなと館
仲田 美穂	社会福祉法人勇成会障がい者サポートセンター なの花
大友 智美	社会福祉法人 町にくらす会
小松 史	一般社団法人ひたちなか市医師会
今 明美	茨城県ひたちなか保健所
石崎 清顕	ひたちなか市社会福祉協議会
浅野 悦子	ひたちなか市連合民生委員児童委員協議会
大和田 征宏	ひたちなか市

川崎 瑠美	相談支援部会長（心の和）
有坂 加奈子	防災専門部会長（はまぎくの会）
鹿島 尚晃	子ども部会長（ハッピースマイル）

議事第1号

基幹相談支援センターの活動報告について

ひたちなか市障害者基幹相談支援センター
(社会福祉法人ひたちなか市社会福祉協議会)

1. 相談支援事業所連絡会の実施 (4月、6~2月 全10回)

【内容】

- ・新規事業所紹介 18件(児7件、者11件)
- ・今年度計画について
- ・基幹相談支援センター(以下「基幹」)への要望についてのアンケート結果を共有
→相談支援事業所を対象にアンケート実施
- ・高校卒業後の進路について ・グループでの意見交換会(8・12月)
- ・専門機関相談会について(医療相談・発達障害・高次脳機能障害)
- ・茶話会 ・加算取得について

2. ケース検討会議 2回

①犯罪歴のある方の今後の支援(行き場所)について

関係機関:入院先病院、更生保護法人、保護観察官、相談支援専門員、基幹

②ケアマネがついている方の子ども(障害の疑いあり)の世帯支援について

関係機関:ケアマネジャー、高齢包括、訪問介護事業所、デイサービスセンター、健康推進課、基幹

3. 専門機関相談会

①日製ひたちなか総合病院 (医療ソーシャルワーカー) 2件

医療的な相談、退院時の連携など

②茨城県発達障害者支援センター「あい」 2件

日常生活でお困りの発達障害に関する相談、障害特性に合った対応方法など

③茨城県高次脳機能障害支援センター(志村大宮病院) 2件

高次脳機能障害の訓練方法、健康管理、社会行動障害に対する支援技術など

4. 研修会

① 障害福祉サービス基礎研修 開催日:6/11 場所:ワークプラザ 27名

対象者:市内障害福祉サービス事業所(成人)で勤務年数が概ね5年以内の職員

目的:障害者の理解を深めるために障害者の特性や支援方法について学ぶ。

② 相談支援専門員研修 開催日:8/8 場所:社協大会議室 14名

対象者:市内事業所で相談支援専門員として業務にあっている職員

目的:支援内での困りごとなどを支援者が集まり意見を出し合うことで、よい解決策や対応方法を検討するグループスーパービジョンの手法を学ぶ。

- ③ 意思決定支援研修 開催日:1/10 場所:しあわせプラザ 37名
 対象者:市内相談支援事業所・障害福祉サービス事業所職員等
 目的:障害者の意思決定支援に関する学習の機会を提供し、サービスの質を上げていく。
- ④ 障害福祉サービス支援者研修 開催日:2/12 場所:ワークプラザ 46名
 対象者:市内事業所(成人・児童)で勤務年数が概ね2~10年の職員
 目的:他事業所の職員と意見交換等を行い、顔の見える関係を構築し、今後の業務に活用していく。
- ⑤ 介護分野と障害分野合同研修 開催日:2/28 実施予定 場所:ワークプラザ
 対象者:市内相談支援事業所、居宅支援事業所・包括支援センター等の介護支援専門員
 目的:障害分野の相談支援専門員と介護分野のケアマネジャーと合同で研修を行い、相互理解や連携強化を図る。

5. 学習会

- ① ヤングケアラー研修 開催日:8/21 場所:ワークプラザ 20名
 対象者:市内障害サービス事業所、教育関係者等
 目的:ヤングケアラーの存在を知り、支援の必要性についての理解を深める。
- ② 成年後見制度講演会 開催日:11/28 場所:文化会館小ホール 288名
 (成年後見中核機関と共催)
 対象者:市内在住、在勤および成年後見制度の支援者等
 目的:成年後見制度の普及啓発、利用促進、後見人支援として。

6. 相談

障害者	身体	2件	障害児	未就学児	4件
	知的	6件		小学生	1件
	精神	21件		中学生	2件
	その他	4件		高校生	1件
合計		33件	合計		8件
		(内、市外11件)			(内、市外1件)

【主な相談者】

市内相談支援事業所・包括支援センター・訪問介護事業所・ひたちなか総合病院・有光苑・水戸市相談支援事業所・他市障害者就業・生活支援センター・基幹相談支援センター・事業所相談員など

7. その他

- ・自立支援協議会、各部会参加(相談支援部会・防災専門部会・子ども部会)
- ・小地域ケア会議参加
- ・ガイドブック発行
- ・基幹相談支援センターチラシ作成
- ・育成会懇談会参加(基幹の紹介も行う)、地域家族会勉強会等参加

- ・グループスーパービジョン ・意思決定支援等研修参加
- ・市内事業所訪問

8. 令和7年度の取組み予定

- ・障害福祉サービス事業所等職員対象の基礎研修、支援者研修
- ・相談支援専門員研修
- ・障害・介護共通研修会
- ・防災上映会実施
- ・各部会との共催での学習会、研修会

議事第2号(1)

ひたちなか市自立支援協議会相談支援部会の活動報告について

相談支援部会長 川崎瑠美
(社会福祉法人心の和)

1. 令和6年度 相談支援部会実施報告

第1回	令和6年4月18日	第6回	令和6年10月17日
第2回	令和6年6月20日	第7回	令和6年11月21日
第3回	令和6年7月19日	第8回	令和6年12月18日
第4回	令和6年8月22日	第9回	令和7年2月20日
第5回	令和6年9月18日		

2. 令和6年度の活動報告

(1) 第3回相談支援部会

- ◇ 緊急時の案件検討(年間緊急対応件数, 緊急の内容, 緊急時対応希望報酬)

(2) 第4回相談支援部会

- ◇ 自立支援協議会の報告, ご家族の意見の共有
- ◇ 他の部会との連携について
- ◇ 障害者支援アプリについての紹介

(3) 第5回相談支援部会

- ◇ 自立支援協議会の家族意見等を踏まえ, 拠点整備をどう進めていけば良いか
 - 緊急時受け入れを最優先に整備
 - 学区ごとの拠点整備
 - サービスにつながっていない方も利用できる体験の場
 - 365日連絡対応可能な体制づくり
- ◇ 他部会とどのような連携が必要か
 - 他の部会の開催内容や頻度等情報を基に検討

(4) 第6回相談支援部会

- ◇ ひたちなか市より地域生活支援拠点の整備に向けた論点整理の説明

- 利用登録, 流れ
- 各機関の役割
(指定特定相談支援事業所, 拠点コーディネーター, 短期入所事業所, 障害者基幹相談支援センター)
- 拠点事業所の届出, 登録(加算で対応)
- 今後の課題
(対象者の要件, 拠点コーディネーターの配置, 24 時間 365 日の連絡体制, 加算で対応できない事例の想定と対処方法の検討)

(5) 第7回相談支援部会

- ◇ 地域生活支援拠点(緊急時の受入れ, 対応の体制整備)に関する意見・アイデア等の検討
 - 緊急時の想定をひたちなか市としては2~3日として考える
 - 各事業所でできそうなことは何か(対応可能な範囲, 協力体制の整備)
 - 日中の延長として預かる
 - 緊急を緊急にしないための体制づくり
 - 災害時の協定福祉避難所の活用の可能性
 - 情報提供の仕方

(6) 第8回相談支援部会

- ◇ 2~3日を想定した緊急時受入れ, 対応の体制整備について, 各事業所によって, 対応範囲が違っている。対応するために必要なツール(アセスメントなど)が必要

3. 今後の取り組み

(1) 地域生活支援拠点の設置

- ◇ 緊急時受け入れ体制の整備
- ◇ 登録対象者の要件
- ◇ アセスメント等のツール様式決定
- ◇ 拠点コーディネーターの配置
- ◇ 24 時間 365 日の連絡体制

(2) 相談支援体制の充実・強化

- ◇ 基幹相談支援センター・障害児者相談支援センター・計画相談支援事業所の3層の相談体制、ひたちなか市障害福祉課含め相互連携、及び必要な情報の共有等、たらいまわしにならない相談体制の充実・強化についての話し合いをすすめていく
- ◇ 基幹相談支援センターの4つの機能(①総合的・専門的相談支援, ②情報の集約及び特定相談支援事業所等への情報提供, ③研修事業, ④地域の体制づくり)等が上手く機能しているか、または機能するには何が必要かなど継続して検討していく

議事第2号(2)

ひたちなか市自立支援協議会防災専門部会の活動報告について

防災専門部会長 有阪加奈子
(社会福祉法人はまぎくの会)

1. 防災専門部会構成

主な構成員は「ひたちなか・那珂・大洗・東海地域福祉関係団体連絡協議会」(以下「連絡協議会」という)であり、13団体で活動。

2. 令和6年度 活動報告

【第1回防災専門部会】

日 時：令和6年5月30日(木) 10時00分～11時20分

場 所：基幹相談支援センター

出席者数：20名(部会員、市障害福祉課、生活安全課、地域福祉課)

会議内容：(1)今年度の防災部会体制について
(2)令和6年度防災訓練について
(3)今後の取り組み

【第2回防災専門部会】

日 時：令和6年8月7日(木) 10時～10時50分

場 所：基幹相談支援センター

出席者数：20名(部会員、市障害福祉課、生活安全課、地域福祉課、基幹)

会議内容：(1)令和6年度ひたちなか市総合防災訓練について
(2)令和6年度協定福祉避難所防災訓練について
(3)電子連絡帳の確認

【防災訓練】

日 時：令和6年8月31日(土)

台風接近のため、中止

【第3回防災専門部会】

日 時：令和6年9月30日(月) 10時～10時40分

場 所：基幹相談支援センター

出席者数：17名(部会員、市障害福祉課、基幹)

会議内容：(1)防災訓練の実施状況報告について
(2)部会研修会について
(3)今後の取り組み

【第1回合同研修会(ひたちなか・那珂・大洗・東海地域福祉関係団体連絡協議会)】

日 時：令和6年12月19日(木) 13時30分～16時

場 所：支援センターふわり 馬渡事業所

参加者数：29名

参加事業所(部会構成団体)	12団体	21名
ひたちなか市(障害・生活・地域・基幹)		8名
参加人数 計		29名
*うち協定福祉避難所事業所	6団体	10名

テーマ：「あの日を忘れない～東日本大震災 障害のある人と支援者の物語～」

内 容：映画鑑賞「星に語りて」

【第4回防災専門部会】

日 時：令和7年1月23日(木) 10時00分～10時55分

場 所：基幹相談支援センター

出席者数：18名(部会員、市障害福祉課、生活安全課、地域福祉課、基幹)

会議内容：(1)第1回合同研修会 実施報告

(2)福祉避難所運営マニュアルについて(地域福祉課より)

会議結果

(1)参加者アンケートの報告及び振返り(抜粋)

- ・東日本大震災当時を思い出しながら、当事者もしくは支援者として何ができるのか考える良い機会になった。
- ・所属団体でも上映会を行いたい。
- ・日頃からの関係性構築や事前の備えが重要だと思う。
- ・震災当時は自分のことで精一杯で何も動けなかった。そもそもどうしたらよいかわからなかった。情報は大事だと思う。
- ・当時は団体内の連絡網も整っておらず苦勞した。今はLINEなどで連絡体制を確保しているので前進している。
- ・震災当時は小学生で回りの大人から助けてもらったことを覚えている。映画を見て当時の大変な状況が理解できた。

<その他>

- ・個人情報開示の話があったが、実際にどうなのか？
→個人情報の保護に関する法律では「生命財産に損害が及ぶ恐れがある場合」など開示できる規定もある。前もって本人の同意があればより開示しやすくなる。
- ・原子力災害についても考えておく必要があるのではないかと。
→屋内退避や広域避難など市でもいろいろ考えているところである。

- ・ 障害者施設では避難計画を定めているのか？
→ だいが前に県主導で策定している。施設間の協定などを活用したり、民間の空きアパートなどを活用する計画になっている。
- ・ 社協が開設するボランティアセンターは誰でも利用できるのか？
→ 登録ボランティアとのマッチングを社協で実施している。要望があれば対応は可能である。

(2) 福祉避難所運営マニュアルについて

市の職員が実際にどのように動くのか明文化。その中で、協定福祉避難所についてもマニュアル内に明記。

3. 次年度の活動について

- ・ 令和7年度も部会を継続し、防災訓練、研修会を実施する。
- ・ 協定福祉避難所における連絡体制及びツールについて検討していく。
- ・ 基幹相談支援センター、相談専門部会、子ども部会と連携し、災害時における課題抽出を行う。

議事第2号(3)

ひたちなか市自立支援協議会子ども部会の活動報告について

子ども部会長 鹿島尚晃

(合同会社 Smile ハッピースマイル)

【1】今年度の活動報告

参加事業所：1事業所除き、その他全事業所加入

各会議：9割の事業所参加あり 欠席事業所は事前連絡あり

・4月24日 第1回目子ども部会実施

- ① 児童福祉分野の小冊子作製について、テンプレートの作成実施
- ② 全法人のメールアドレスの共有：一斉に連絡をする際などの連絡網完成
- ③ 福祉避難所や防災専門部会の取組みについて情報共有

・7月3日 第2回目子ども部会実施

- ① 小冊子について、前回の意見を踏まえて修正案を共有
⇒予算の関係上、作成可能な段階までで停止中
- ② 障害児福祉計画においてR8年に整備予定となっている「児童発達支援センター」について基礎知識の説明
- ③ ②について、現場の意見の取りまとめ
⇒市からの説明も聞いてみたいとの要望があり、子ども部会の特別開催(9月9日)において障害福祉課職員を招き勉強会を実施

・10月9日 第3回子ども部会実施

- ① 各事業所からの困り感の共有(センター設立時の案の一つとなる事も踏まえ実施)
 - ・保護者が困った時に相談に行く場が複数ありどこに行くべきか判断が難しい。
 - ・受給者証の取得方法など保護者目線でわかりやすい制度の説明がほしい。
 - ・事業利用の有無にかかわらず、発達障がい児向けの相談の場があるとよい。
 - ・受給者証を市役所以外の場所で発行してもらえるとよい。
 - ・学校や園との連携窓口が必要。
 - ・訪問事業を行う事業所が少ないため、事業の拡充が望まれる。
 - ・公共施設等の利用が円滑に行えるよう市の関係機関との連携、周知が必要。

・1月29日 第4回子ども部会実施

- ① 今年度の報告 上記内容の振り返り
- ② 来年度の案について グループワークでの話し合い実施

※その他：Hi たっち なかよし祭りについて

内容・参加事業所：別紙①ポスター参照

開催者：参加者含み 400人規模（昨年100人規模）

（受給者証を持った子ども達がお店屋さんを行い、一般の方に感謝されながらお祭り実施）

（保護者様・地域の方からも温かいお言葉が溢れた）

※実施後アンケート：別紙②アンケート結果参照

※その他：青少年課からの依頼で学校学童の支援員さんとの交流

（事業所見学・質疑応答等）

⇒支援員さんからの結果を一部ずついただき報告 （別紙③報告書参照）

【2】来年度活動案（令和7年1月29日に出たため、今後精査予定）

・現場での困り事などについての話し合い（グループワーク実施予定）

⇒現場の困り事の総まとめを社協へ情報提供

（次年度の研修会テーマの題材としていただく）

※昨年のグループワークより研修について民間の現場からの意見として：

事例検討会・新人教育・中途教育・接遇・救急・子供との関わり方・虐待・身体拘束研修（実践を踏まえて）

保護者向けの研修などについて多く挙がったこともあり、テーマについて具体性を出し、行政との連携を図る流れとなった。

・グループディスカッション

（学童支援員さんから発達障がい児への関わり方への質問に対して話し合い、その結果を青少年課へ伝える）

・関係機関との交流（学校・学童・特別支援学校・園等との交流など）

・各事業所の見学会・スタッフの交換会

・行政との連携の機会：例えば、（送迎の困難感の相談・各機関の役割・アプリに対する反応）

・交流会（レクレーション・ランチミーティング）

子ども部会を実施しての考察

- ・様々な事業所が参加し、顔の見える関係になってきたことは大きな成果。
この繋がりから、互いの悩みの解決・情報の共有・今後の未来への関わりが行え、必ず子ども・保護者のための部会となっていることは確信できるのではないか。
- ・民間事業所が集まり、「部会」という形となる事で、行政とのしっかりとした連携・相談が行えるようになり、苦情ではなく相談となれることから、保護者様にとっても心強い市となり、今後のひたちなか市で出生率0 予測問題に対しての解決策の一つとなるのではないか。
- ・今年発足したばかりのため、目的をしっかりと認識したまま、継続していくことが大切となると考えた。

今後の課題

- ・部会としての存在意義をそれぞれが感じ、達成感のある時間となること。
- ・誰かに偏ることなく、みんなで作り上げていく部会となること。

Hi たっち ななかよし祭り

★なんにも考えずとてあえず 楽しんじゃえぼええじゃないか！★

★日時★

11月4日(月)10:00~14:00

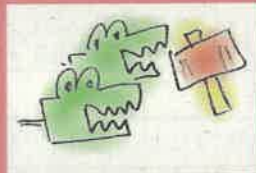
★場所★

しおかぜみなと



しおかぜみなとHP

- ゲーム
- ワークショップ
- ショップ販売
- 移動式駄菓子屋
- 飲食(軽食)
- 剣道大会
- 福祉車両体験



※各店舗50円~400円程度

※その他 キッチンカー



おこさま
お預かりします！！

茨城県
作業療法士会

※おひとり30分間
※料金は無料です。

★入場料無料★
★駐車場あり★

雨天時は体育館で実施！
(荒天時は中止)



ひたちなか市の障害福祉サービス事業所が「つながり」を目的に

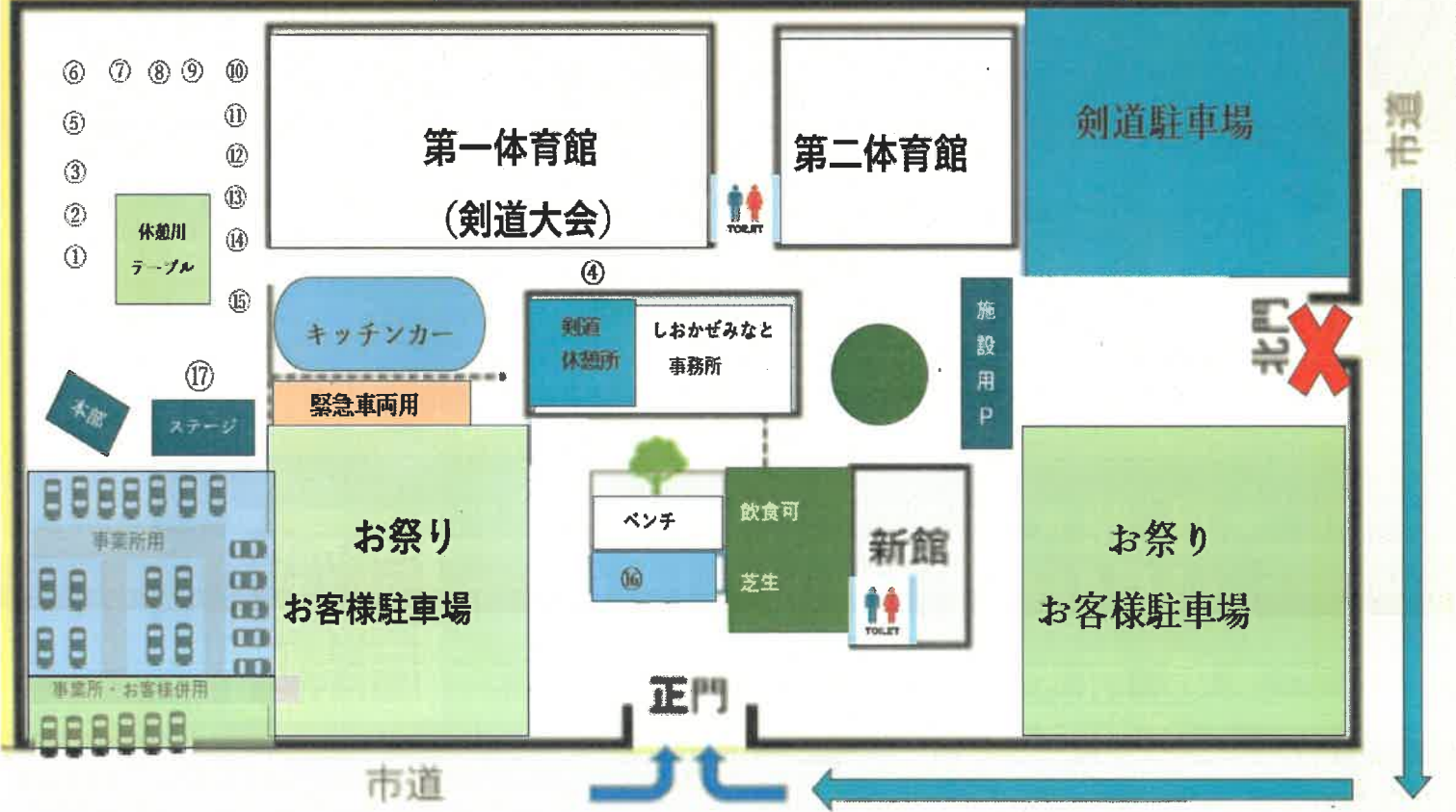
「すべての子どもたちの笑顔と成長のため」に始まったお祭りです。

みんなで楽しんじゃえぼ、ええじゃないか！！

共催：茨城県作業療法士会

後援：ひたちなか市・ひたちなか市社会福祉協議会

お祭り会場案内図



～グラウンド内での出し物紹介～

事業所	内容		
① ハッピーマイル(本店・津田・西大島・スクール)	ゲーム	ワニワニパニック、ピンボール、的当て、ヨーヨーすくい	
② 学童デイサービスよつば		フリーマーケット/卓球/くじ引き/ワークショップ	
③ クオリティ・オブ・ライフひたちなか支援教室		バスケのフリースロー体験(おやつつつかみ取り!)	
④ ひたちなか地区 剣道連盟		剣道体験コーナー:竹刀を使った体験コーナー	
⑤ 茨城県作業療法士会 ひたちなか・常陸太田医療圏 With みなとwaiwaiクラブ		託児 (体験型スポーツ)	
⑥ こども元気塾(ひたちなか・田彦・東海)	雑貨販売 手作り体験	プリンジストラップやジェルキャンドルなどこどもたちが作った物を販売	
⑦ 日赤Eco&[Cross]奉仕団 with じょうしょう塾		『体験型SDGs 自分にできることからはじめよう』	
⑧ 放課後等デイサービス・児童発達支援ピースサイン		子ども達の作品販売	
⑨ コベルプラスひたちなか教室		缶バッチ作り体験!!	
⑩ ウィズユーひたちなか		くじ引き/ベタベタアート体験! 飲み物販売	
⑪ キッズデイあしたば 放課後等デイサービスあしたば		くじ引き	
⑬ みんなのりずむ		アクセサリー販売、その他、利用者作品販売	
⑭ デイホームはっぴい		キーホルダー販売/2025年のカレンダー販売 スポッチャ体験	
⑮ くじらくも		飲食	移動式駄菓子屋
⑫ なかや勝田教室・なかや佐和教室			惣菜/輪投げ/スーパーボールすくい
⑯ トヨタ	福祉車両体験		
⑰ ひたちなか市 青少年課	学童の相談等	※演奏:ひたちなか市 リーダーズクラブ	

会議参加事業所: キッズハウスえくぼ ひたちなか、きっずプラス、キッズワン、こすもすキッズ

別紙②アンケート結果

程度	ご自分の仕事に 役立つ部分は ありましたか。	周辺事業所との交流は ありましたか？	利用所種・ご家族は 満足されていましたか？	感想を漏れにお願します。	来年も参加したい ですか？	参加したい
5	とてもあった	あった	あった	4 規模感が大きくなりお祭り感もあって楽しかった。時間も長すぎず良かった。	参加したい	来年に向けた改善案がありましたらお願いいたします。
5	とてもあった	あった	あった	5 次回は是非、当事業所もブースを出して参加の皆さんを笑顔にしたいです。	参加したい	駐車場台数の確保、飲食ブースが増えてほしい
5	とてもあった	あった	あった	5 大変良かったです。とても良い機会になりました。	参加したい	無料で楽しめるコーナーがもう少しあれば良いと思います。
5	とてもあった	あった	あった	5 たくさんの方々と交流することが出来て良かったです。	参加したい	駐車場の混雑が凄まじいので、事前に開催して駐車場を確保しておく などが必要かと思えます。
5	とてもあった	あった	あった	5 今年も参加できて本当に良かったです！地域のつながりを肌で感じました。	参加したい	駐車場の間隔スペースが狭くなりました。
5	あった	あった	あった	5 子供連の笑顔が溢れる素晴らしい祭りだったと感じております。日常ではなかなか他事業所の方々と協力をし向かえするということが無いため、お互いを知り合うのに効果的な行事だったと思います。	参加したい	うちのスタッフの甲で、よさこいをやっていて、音響があったのでよければ踊ってみたいとのお話がありました！
5	多少あった	あった	あった	5 今回は参加事業所も増えて、よりお祭り感がアップしていただいたので良かったです。人手が足りず、駐車場の手伝いなど出来ず申し訳ないです。人手があればお手伝いや、他の事業所のところを回ってみたいです。	参加したい	特にございません。
5	とてもあった	あった	あった	5 沢山の子どもたちの笑顔を見るのができ、楽しい一日を過ごさせていただきました。ありがとうございます。	参加したい	本郡にA4ぐらいの配布出来る地図があったら良いのかと思います。
5	とてもあった	無かった	あった	5 この取り組みは継続事業として続けていきたいです。負担になり過ぎない程度でブラッシュアップしていければと思います。	参加したい	ありません。
4	多少あった	あった	あった	5 初参加でしたが、非日常な味わいよい経験になりました。しかし、当事業所のような常設事業所には色々な意味で参加が難しいと思えます。	辞退したい	全体の動線を狭めては、キッチンカーのスペースはもう少し狭めて良いかも。グラウンド側は重身重車や積み下ろしが重い車を止めるように決めてはどうか。パイロン担当を止めなくてはならないなら事前に決めてくれた方が良いでしょう。喫煙所の位置（受動喫煙防止）。クレープの待ち時間が長くローテーションで回していると時間が足りなくなってしまう。食べ物の種類は増やしても良いかも。
4	とてもあった	あった	あった	5 お祭りも試合も楽しむ事が出来て良かったです。	参加したい	コンドミニなどが近隣にないため、飲食ブースの拡大、またはお祭りスタッフの弁当の手配促進が欲しいと思います。
5	多少あった	あった	あった	5 たくさんの方々と交流することが出来ました。楽しく参加させていだだきありがとうございます。	参加したい	剣道大会参加者の駐車場が足りず、御迷惑をおかけしたのではないかと感じます。改善に努めます。
5	とてもあった	あった	あった	5 子ども達の活躍の姿や成長する姿をスタッフが見られたことはもちろん、保護者様にも見ていただく機会になり、素敵な時間を過ごすことが出来ました。	参加したい	駐車場で事業所側が停車するスペースの確保
5	とてもあった	あった	あった	5 開催2回目でも保護者様利用も楽しんでいました。職員も流れが分かるととても楽しく参加でき、来年度に向けて話し合う姿も見られ良い体験が出来ました。	参加したい	剣道の方が昨年よりも大きく大会を開催してくれたいと思います。お客さんとしてはあまりいかなかったように感じました。また、そのためか、駐車スペースがなくなってしまう、困ってしまうこともあったように感じました。
5	とてもあった	あった	あった	5	参加したい	もっと飲食があるといいなあと保護者様からありました。

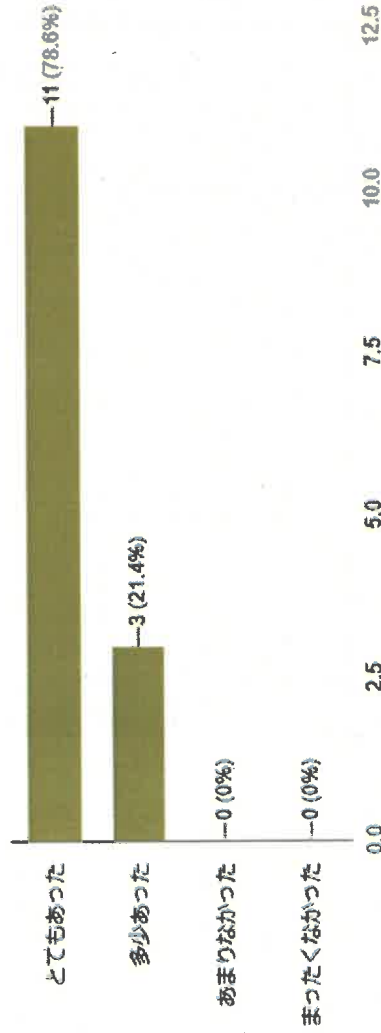
お祭はどのくらい満足されましたか。

14件の回答



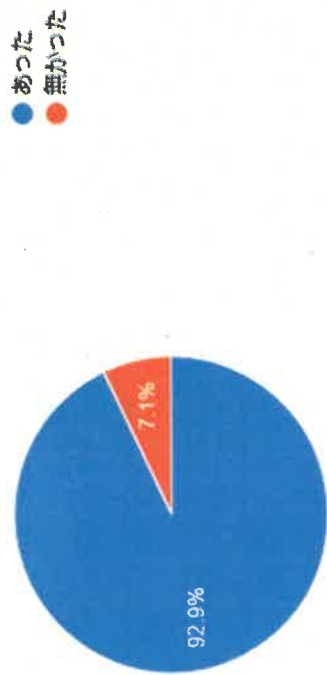
ご自分の仕事に役立つ部分はありましたか。

14件の回答



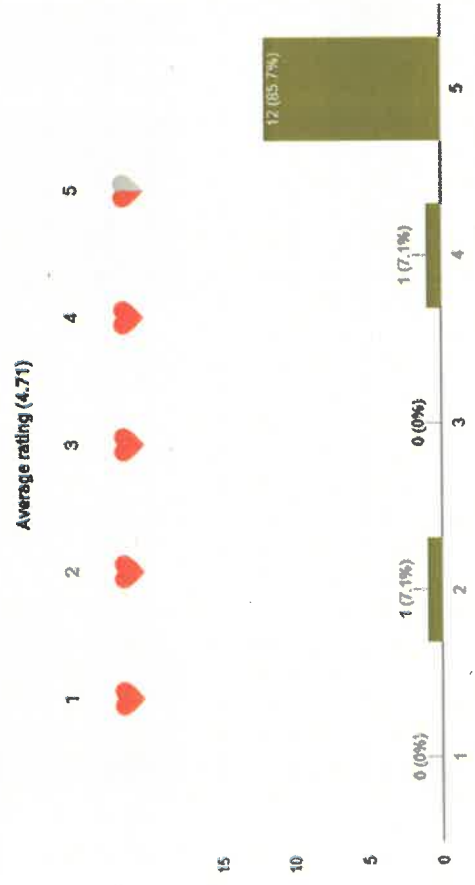
お祭をきっかけに（準備等を含め）周辺事業所との交流はありましたか？

14件の回答



このお祭りで、利用所様・ご家族様は満足されていませんか？

14件の回答



< 放課後等ディサービス事業所見学の気づき > 実施日 12/5

【 考察箇所 】

◆ 『 一日のスケジュール (その子にあったスケジュールはあるのか) 』

【メモ】

一人ひとりに合わせたやり方 “わらい” 目的、活動、の流れを記録して様子返す = 自信がつく。 学習トレーニング集団活動などメリハリをコアにスケジュールにする。 平日1~2回のペースでUT/DTの個別療養がある。

◆ 『 きまり ルールは どのように示しているのか 』

【メモ】

目で見えるわかるようにする。掲示物は必要な物だけ貼る。
できたらシールを貼る ポイントをためるとおやつ交換 ゲームソフト30分間使用
になるので 目標に向かってがんばろうと言うかにか繋がる。

◆ 『 保護者との連絡方法 』

【メモ】

スマホを使用して 毎日の様子を写真と文章で伝えている。保護者からのコメントもでき 自宅での様子などやり取りが行える。

<感想>

環境作り、仕切りを大人が立っ見渡せる高さにして、7-ルタウンさ
きる音屋・壁の色など 安心に過ごせるように工夫を凝らしていた。先生達は
常に自己研鑽に励み子ども達一人ひとりに合わせた声かけや関わりを大切
にして成功体験を積みほめるのほすことと心がけらる事に見習う点が多
くありました。楽しく過ごしている子ども達の笑顔がとても印象に残ります。

< 放課後等ディサービス事業所見学の気づき > 実施日 12/10

【 考察箇所 】

◆ 『 運営における 公立学童クラブとの相違点と工夫点について 』

【メモ】

- 子どもの人権を大切にしている。(本人の意向を尊重している)
- 運営スタッフ、支援スタッフの役割分担がきっちりできている。各自スムーズに役割をこなしている。
- 毎日のミーティングで20~60分行い、一人一人の子どものためにやるべきこと、共有している。交換をスムーズに行えると思えた。

◆ 『 交換における 公立学童クラブで取り上げらる点について 』

【メモ】

- 「お約束」について子どもが見える所に貼って提示している。(ホロホロドにマフネイト2枚)
- 時計の活用(アナログ時計とデジタル時計) - 前面に2つの時計を設置して、時間を明確にさせる工夫をこらした。(視覚と時間を入れる習慣)
- 利用者6名、支援スタッフ3名。個別にしっかりと交換できるように

◆ 『 子どもの何エピソード発生時に、交換員が感情的に押し出す交換に及ぶ方法 』

【メモ】

- まず、感情的になりすぎず「離れろ」→交換員全員と共有する。交換員全員が見える。
- 「1~10を数えろ、言葉少なく、トランプル現象の間は1~2名の交換員が入る。

<感想>

- 交換に当たって最も大切にしていることは、「子どもの好きになる事」、「子どものことを知る」こと。「子どもの成長を促すこと」に開かれた姿勢が多く持つことで信頼関係が生まれ、保護者とも連携ししっかりと支援が受けやすくなる。これは私も同じ考えであり、共感できた。
- 社会生活をする上で人と関わり合う事は、大切なこと。しかし、必要不可欠であるから、交換に当たって、特に「一人一人の子」に注視し、声をかけていく重要性を再確認できた。

令和7年度の予定について

障害福祉課

(1) 障害者支援アプリについて

【令和6年度の取組み】

- ・令和6年12月に「ひたちなか市障害者支援アプリ」を公開
- ・ダウンロード数258件（うち会員登録数138件）
- ・市報、ホームページ、チラシ等で周知活動を実施

【令和7年度の取組み】

- ◎引き続き利用者数の増加に向けた啓発を行う
- ◎新たな機能の追加に向けた検討

(2) 相談支援部会

【令和6年度の取組み】

地域生活支援拠点の整備に向けた課題等を検討

- ・相談支援部会において「緊急時の対応」を中心に検討
- ・先行事例や好事例の収集

【令和7年度の取組み】

- ◎拠点となる事業所の登録に向けた検討（登録手続、事業所への周知等）
- ◎令和8年度開始に向けて具体的な仕組みづくりを進める

(3) 防災専門部会

【令和6年度の取組み】

- ・各種研修活動の実施
- ・総合防災訓練（台風接近により中止）
- ・福祉避難所運営マニュアルの制定（地域福祉課）

【令和7年度の取組み】

- ◎市民向け啓発として「星に語りて」上映会を実施

(4) 子ども部会

【令和6年度の取組み】

- ・事業所の相互理解が進み関係性構築が図れた
- ・研修参加を通じた職員の意識向上

【令和7年度の取組み】

- ◎関係機関の連携強化
- ◎研修活動の充実



令和6年12月4日

ひたちなか市障害者支援アプリを リリースしました

だれでも無料でご利用いただける便利なアプリです。
ぜひご利用ください！



アプリでできること

ひたちなか市の障害福祉ハンドブック「輝く明日へ」の情報を、障害種別や等級ごとに一覧で表示できる検索機能や事業所情報をマップ付きで見ることができます。

さらに、障害者・障害児の福祉に関する情報や市役所からの案内をタイムリーに受信することができます。


そのほか、デジタル版ヘルプカードやデジタル障害者手帳「ミライID」との連携などにより、外出先でも活用いただける機能があります。

* 通信費、データ使用料は実費負担となります。

アクセス方法

アプリをダウンロードして利用する場合
iPhone「App Store」、Android「Google Play」からダウンロードして、ご利用ください。

 App Store
からダウンロード

 Google Play
で手に入れよう



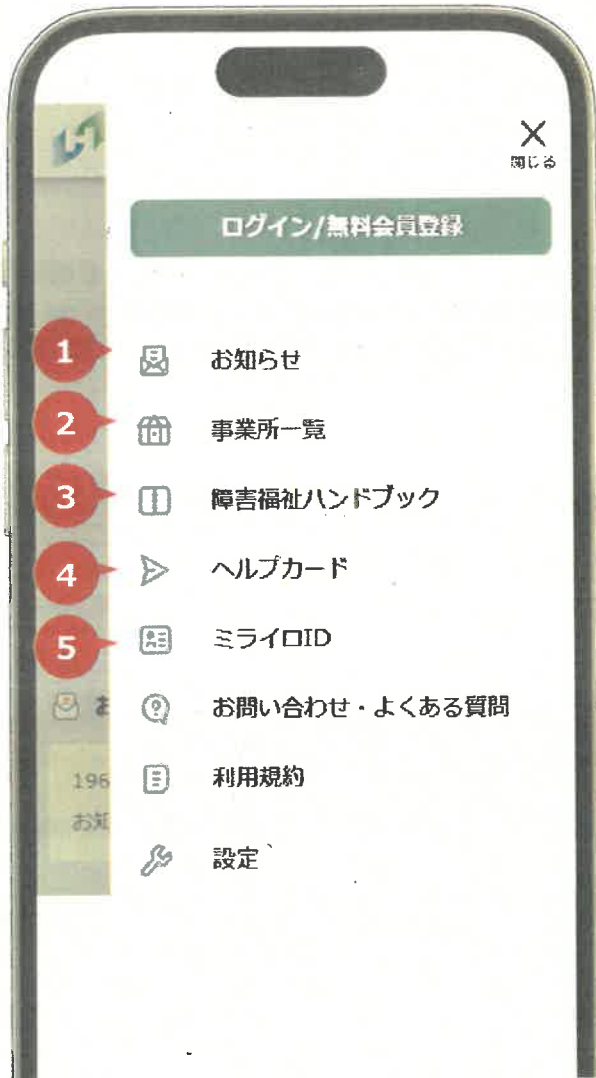
WEBブラウザでアクセスする場合

左記の二次元コードをカメラアプリで読み取るか、「<https://lg-pwd.jp/home?citycode=082210>」に直接アクセスしてください。



ひたちなか市障害者支援アプリ

便利な5つのメニュー機能！



①ひたちなか市からのお知らせ

ひたちなか市からお知らせをお届けします。
会員登録時の情報から、特性に合わせたお知らせを受け取ることもできます。

②事業所一覧

ひたちなか市内の各事業所情報を検索・確認することができます。
デジタルマップ上で表示・確認することや、サービス検索、地区検索、キーワード検索など、調べたい情報に合わせて、確認できます。

③障害福祉ハンドブック

ひたちなか市が発行している障害者支援情報の冊子・公式ホームページの情報を自身の特性に合わせて検索・確認することができます。

④ヘルプカード

会員登録後にアプリでヘルプカードを作成することができます。
カードを持ち歩く必要がなくなり、紛失する心配がなくなります。

⑤デジタル障害者手帳「ミライID」

デジタル障害者手帳「ミライID」へ、ワンタップで遷移することができます。
「ミライID」をApp Store、Google Playから、事前にダウンロードのうえ、ご利用ください。

ご利用方法がわからないなど、ご不明な点があれば、
お気軽に下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。



お問い合わせはコチラ

ひたちなか市保健福祉部福祉事務所障害福祉課

TEL : 029-273-0111

※アプリ内によくある質問もございます。ご確認のうえ、お問い合わせください。

